

当り前じゃない安全な水

2年2組11番

安全な水を世界中に

- 安全な水とトイレを世界中にというSDGsの目標6から水に注目して世界の水問題について調べていきます！



①世界にある水問題

- 世界の水問題は、大きく

- トイレ

- 飲み水

- 汚水（工場・生活排水）

などの中から飲み水について調べます！

②飲み水

- 世界には、水が不足していたり、汚かったりして苦しんでいる人々がたくさんいます。

水が汚くなる理由

- ①安全な水を届けるためのインフラが整っていないから
- ②都市部から遠く離れた農村地域では、村内に水を手に入れるための井戸がないことがあるから
- ③井戸があっても壊れたまま修理されていないために利用できないから

アフリカ サハラ以南

地表水を飲料水としている約1億4,400万人の半数以上が、サブサハラ・アフリカ地域に暮らしています。

安全な水を届けるためのインフラが整っていないため、アフリカの貧しい地域では安全な水を使って料理や洗濯をすることができないのです。

都市部から遠く離れた農村地域では、村内に水を手に入れるための井戸がないことがあります。また、井戸があっても壊れたまま修理されていないために利用できないこともあります。こうした貧しい地域には政治家の関心が向きにくく、何の対処もされないまま見放されてしまっていることも珍しくありません。そのため、人々は川や池から汲んだ水をそのまま使うほかないのです。たとえ井戸や貯水タンクなどの施設があっても、適切な管理がされていないために非常に不衛生なまま利用されていることもあります。安全な水が手に入らなくても、生きるためにはその水を使うしかありません。

南アジア、中央アジア、西アジア

- 干ばつとは長期間雨が降らない、あるいは雨が少なくなることで起こる水不足の状態です。
- ほとんど雨が降らないため日照り状態となり、水がなくなるため土地はひび割れ、農作物に深刻な被害を及ぼすだけでなく、山火事を引き起こすこともあります。
- 長期的に続けば砂漠化が進む原因にもなります。
赤道近くのアフリカ諸国では1970年以降、たびたび大規模な干ばつが起きています。そのため農作物が育たず、飢餓に繋がっています。

③汚い水を飲んでると、、、

- 浄水処理をしないまま飲むと、抵抗力の弱い子どもたちはたちまち下痢を起こしてしまいます。汚れた水を主原因とする下痢で命を落とす乳幼児は、**年間30万人、毎日800人以上**にもものぼっています。また、肺炎、下痢、マラリア、エイズなどといった感染症にかかりやすいです。

④いま世界で行われていること

国家レベルで言えば、環境省が打ち出す「アジア水環境改善モデル事業」がその一例となります。

日本に近いアジアでの水環境改善を政府の成長戦略の一環としており、民間企業の有する産業排水処理や水域の直接浄化技術などをアジアの水ビジネス市場への進出を支援することで広く提供できるようにしています。

⑤今の自分たちには何ができるか

・寄付・募金

- 私たちの寄付や募金によってワクチンを購入することができれば、子どもたちも肺炎にかからなくなり、健康に成長できるようになります。そのほか、井戸や水道などの設備を整備したり、蚊が媒介するマラリアの予防のために蚊帳の購入・設置にも使われます。
- いづれもアフリカの子どもたちにとってはなくてはならず、命を守るために重要なものです。アフリカの子どもたちを救うためには、医療だけでなく貧困・栄養・衛生・教育など多くの課題を、現地政府や他機関と力を合わせて解決していかなければなりません。
- そうした活動のための資金として、私たちの寄付や募金が有効的に活用されます。